

セミナーとワークショップへのご案内



BUILDING RESILIENCE IN TURBULENT TIMES
3RD INTERNATIONAL CONFERENCE



Dr. Timothy Summers



Dr. Mariko Nishizawa



Peter Mertens

#CYBERCRIME #HACKERS #FUKUSHIMA #NUCLEAR #BRUSSELSLOCKDOWN

2016年7月1日(金) アントワープマネジメントスクールの協力による第三回CIPインスティテュート国際会議を開催します。

CIP (Complex and Interactive Process) は、最先端の討論の場で様々な専門分野の科学者と実務家を引き合わせることによって、危機管理の分野についての知識を交換し、発展させることを目標にしています。なお、CIPインスティテュートは12カ国の70名以上のメンバーで構成されています。

今年の会議のテーマは

混乱した時代における耐性・体制の構築 – コミュニティと組織における複雑かつ双方向的対話

◆プログラム

日本、アメリカ合衆国、ベルギーからの主要演説者が発表を行います。

- 国際的な主要講演者による基調講演
- CIPメンバーが主催する講習会（ワークショップ）
- CIPが現在進行しているプロジェクトについての講習会
- リスクと危機専門家と国際的な聴衆者との交流

◆ワークショップへの提案

ワークショップへの提案を募集しております。
ご自身の考えと講習会の計画を提出してください。
詳しい情報と登録は下記のアドレスまで

cipinstitute.org/event2016

◆基調講演者

今年の会議の基調講演は、CIPが誇る、3名の国際的な演者です。会議のウェブサイトで、演説の概要を読むことができます。



ティモシー・サマーズ博士
(アメリカ合衆国)
アドバイザー・戦略家
サマーズ&カンパニー

ハッカーにデータを盗まれたり、ペテン師、告発者、スパイによって、人質事件やマスコミ騒動になってしまうことから、あなたの組織を守るために鍵となるアドバイス



西澤 真理子 博士
(日本)
東京工業大学
リテラジャパン株式会社

より強力で、安全な文化をつくるためへの鍵となるアプローチ：
原子力産業とリスクコミュニケーション



ペーター・マーテンス
(ベルギー)
代表者・コーディネーター
ベルギー政府危機管理部

一連のテロ事件におけるブリュッセル警戒態勢、テロリストからの脅迫の中での効果的なコミュニケーション：ベルギーからの報告

詳しくは cipinstitute.org/event2016 をご覧ください。

本会議、CIPに関して、提案、もしくは詳しい情報が必要な場合は、下記のアドレスまでお願いいたします。

info@cipinstitute.org

CIPの公式ツイッター [@cipinst](https://twitter.com/cipinst)

このリンクで、CIPに参加することができます [CIP Institute discussion group](#)